

没後10年

# 小磯

1998年9月12日(土) - 11月8日(日) [月曜日休館]

[2館同時開催]

神戸市立小磯記念美術館

「小磯芸術の流れ」

兵庫県立近代美術館

「小磯良平と同時代を生きた画家たち」



Exposition Rétrospective de Ryohhei Koiso

1998年9月12日(土) - 11月8日(日)

観覧料 ● 午前10時 - 午後5時(入館は午後4時30分まで)

主催 ● 兵庫県立近代美術館・神戸市立小磯記念美術館・神戸新聞社

後援 ● 兵庫県・兵庫県教育委員会・神戸市・神戸市教育委員会

(協)伊藤文化財団・NHK神戸放送局・サンテレビジョン・AM神戸

講演会 ● 9月29日(火) オルビスホール(神戸ファッション美術館内)

梶尾河童氏(神戸美術家・エッセイスト)『1947年』と小磯良平』

● 10月4日(日) 兵庫県立近代美術館講堂

池井百合氏(三宮県立美術館長)『良平伝説とモダニズム』

● 10月17日(土) 2階より、詳しくは近代美術館、小磯記念美術館まで

# 没後10年 小磯良平展

小磯良平の作品は、早稲した技術に裏付けられた正確な描写力、そして画面に漂う明るく静謐な雰囲気がよく知られています。それは、日本人が取り組んだ西洋絵画のひとつの成果として高く評価されてきました。

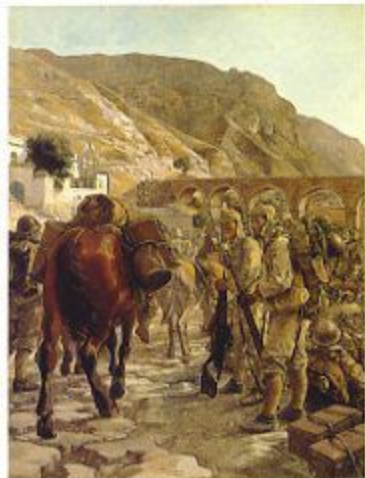
さて、本年は小磯良平が没して10年にあたります。本展覧会は、これを機に、兵庫県立近代美術館と神戸市立小磯記念美術館が合同で開催するものです。

小磯良平が密展で特選を受賞し、華々しく画壇にデビューしたのは、時代が昭和を迎えようとする直前でした。以後約60年間、小磯は、自身の制作の方向性を鋭く見定めながら、激動とも形容できるこの時代を駆け抜けました。

神戸市立小磯記念美術館では、「小磯芸術の流れ」と題し、東京美術学校時代の作品を皮切りに、新たな関心と試みを加えながら展開していく小磯の芸術の流れをたどります。一方の兵庫県立近代美術館では、「小磯良平と同時代を生きた画家たち」と題し、小磯作品と同世代の作家の作品を〈西洋〉〈群像〉〈社会〉〈女性像〉のテーマのもとに紹介します。

## 【小磯良平と同時代を生きた画家たち】

伊勢 正義 伊藤 徳郎 猪熊 弦一郎  
伊原 宇三郎 内田 巖 海老原 喜之助  
岡田 三郎助 山口 軌外 木下 孝則  
木下 義謙 小松 益喜 小堀 四郎  
鈴木 誠 須田 国太郎 高井 貞二  
高光 一也 田村 孝之介 寺内 萬治郎  
中吉 利雄 中野 和夫 中村 研一  
中山 巖 藤島 武二 吉家 新  
前田 寛治 宮本 三郎 向井 潤吉  
(五十名額)



- 小磯良平「和服の婦人像」  
1935年 姫路市立美術館蔵
- 小磯良平「桃とクルミのある静物」  
1939年 神戸市立小磯記念美術館蔵
- 小磯良平「娘の関をゆく」  
1941年 東京国立近代美術館蔵
- 小磯良平「横の探検」1951年
- 小磯良平「黒い砂の女」1977年

## Exposition Rétrospective de Ryuei Kaisei



## 神戸市立小磯記念美術館

〒658-0032 神戸市東灘区淡路町中5-7 ☎078-657-5860  
JR西宮駅、阪神淡路線のりかえ六甲ライナー、  
アイランド北口駅下車徒歩5分

## 兵庫県立近代美術館

〒657-0837 神戸市東灘区三田3-8-30 ☎078-801-1591  
JR灘駅、阪神王子公園駅より徒歩5分、阪神西宮駅より徒歩15分  
URL <http://www.senni.or.jp/museum>

## 観覧料

2館共通券		近代美術館		小磯美術館	
区分	当日	前売	当日	団体	当日
一般	1500	1200	1000	800	800
大高生	1000	700	700	500	550
中高生	600	300	400	200	300

- 団体は20名以上
- 夜間は2館共通券のみ、市内の各プレイガイド等で発売